

● 東海農業の特徴

東海地域は国土面積の 5.6%、総人口の8.7%を占め、海拔 0m 地帯の濃尾平野西南部から3,000mを超す飛騨山間部まで、温暖地域から豪雪地帯までを有する多様な自然環境条件が存在する地域です。

名古屋市という大消費地を抱え、近畿圏や首都圏への交通ネットワークも充実していることから、愛知県が農業産出額で東海全体の57%を占め、東海地域の中心的な役割を担っています。

岐阜県

平成19年の農業産出額1,184億円は、全国第27位で全国に占める割合は1.4%となっており、品目別では、米が240億円で最も高く、次いで鶏卵、肉用牛、トマト、ほうれんそうの順になっています。平成18年の市町村別農業産出額では、岐阜県で第1位の高山市は、全国第63位の位置にあります。

中山間地域の割合が高いため、平成18年度の都道府県別カロリーベース食料自給率は、25%となっています。

愛知県

平成19年の農業産出額3,154億円は、全国第5位で全国に占める割合が3.7%となっており、品目別では、米が322億円で最も高く、次いで鶏卵、豚、生乳の順になっています。平成18年の市町村別農業産出額では、愛知県で第1位の田原市が全国第1位の位置にあります。

人口が集中する大都市を抱え、園芸作物のウエイトが高いため、18年度の都道府県別のカロリーベース食料自給率は、13%となっています。

三重県

平成19年の農業産出額1,099億円は、全国第28位で全国に占める割合は1.3%となっており、品目別では、米が304億円で最も高く、次いで鶏卵、肉用牛、豚、茶（生葉）の順になっています。平成18年の市町村別農業産出額では、三重県で第1位の鈴鹿市は、全国第86位の位置にあります。

18年度の都道府県別のカロリーベース食料自給率では、44%と全国値39%を上回っています。